

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 24.5.23 第 180 回国会第 3 号

5 月 23 日（水）第 3 回の委員会が開かれました。

1 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する件（衆議院議員の選挙制度）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）慶應義塾大学大学院教授	曾 根 泰 教君
東洋大学法学部教授	加 藤 秀治郎君
東京工業大学名誉教授	田 中 善一郎君
法政大学大原社会問題研究所教授	五十嵐 仁君

（質疑者及び主な質疑内容）

柿 沼 正 明君（民主）

- ・選挙は公平かつ公正でなければならないが、しがらみなどにより自由選挙が侵害されている事例がある。これをどのように改善し、解決していくべきか各参考人の意見を伺いたい。

西 野 あきら君（自民）

- ・一票の較差について最高裁は違憲状態としているが、選挙制度について各党間での協議が調わず、現状のまま総選挙が行われ、選挙無効の訴訟が提起された場合、最高裁が無効判決を出す可能性について、曾根参考人及び加藤参考人の意見を伺いたい。
- ・一票の較差是正を行わない中での衆議院の解散権の拘束について、曾根参考人及び加藤参考人の意見を伺いたい。
- ・自民党の日本国憲法改正草案第 47 条は、「各選挙区は、人口を基本とし、行政区画、地勢等を総合的に勘案して定めなければならない。」としているが、曾根参考人及び加藤参考人の考えを伺いたい。

富 田 茂 之君（公明）

- ・違憲状態を解消するために 0 増 5 減を先行させるという提案について、各参考人の所感を伺いたい。
- ・民主党がマニフェストに掲げ、強く主張している衆議院の比例定数 80 削減について、田中参考人及び五十嵐参考人の所感を伺いたい。

穀 田 恵 二君（共産）

- ・民意の反映と集約という選挙制度に関する論点について、五十嵐参考人の見解を伺いたい。

- ・現行の小選挙区比例代表並立制では、政権獲得の可能性がない政党は排除される傾向があるが、このような弊害について田中参考人の見解を伺いたい。
- ・小選挙区比例代表並立制が民意をゆがめ、政治の劣化を招いたという反省をメディアと政治学者は持っていないという指摘について、曾根参考人及び五十嵐参考人に所感を伺いたい。

内 山 晃君（きづな）

- ・いわゆる「マニフェスト選挙」について、各参考人の意見を伺いたい。
- ・マニフェストに掲げていない政策を実行に移すことについて、各参考人の意見を伺いたい。

中 島 隆 利君（社民）

- ・小選挙区比例代表並立制によるこれまでの 5 回の総選挙を見ると、政権交代可能な二大政党制ばかりがあらわれて政治が民意から離れているように思われるが、並立制の弊害について、曾根参考人及び加藤参考人の意見を伺いたい。
- ・第 8 次選挙制度審議会は、政治改革の目的として、政治腐敗の防止、民意の集約による政治意思決定の明確化、政権交代可能性の重視、少数意見の国政への反映をあげた。これらを果たすことができる選挙制度について、各参考人の意見を伺いたい。

山 内 康 一君（みんな）

- ・小選挙区制度における 1 選挙区当たりの人口規模について、どの程度が適正であると考えられるのか、曾根参考人及び加藤参考人の意見を伺いたい。
- ・比例代表選挙の選挙区を全国単位にする場合、党内の

名簿順位の決め方などをどのようにするのが望ましい
のか、田中参考人及び五十嵐参考人の意見を伺いたい。
・政党内の候補者選定の在り方について、各参考人の意
見を伺いたい。